

国頭地区ミニバスケットボール交歓会実施の感染防止策チェックリスト①

参加者が遵守すべき事項

□以下の事項に該当する場合は、本連盟が主催する大会には出場できません。

- ①体調がよくない場合（例：発熱（37.5℃以上）・咳・咽頭痛などの症状がある場合）
- ②同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
- ③過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合

□感染のリスクを最小限にするために、感染防止の3つの基本である、十分な距離の確保、マスクの着用、手洗い・手指消毒を含めた以下の感染対策を推奨する。

①ソーシャル・ディスタンスを確保

- 1) 人と人の間の距離を1メートル以上とり、ソーシャル・ディスタンスを保つ。
但し、プレイ中やアップ中はその限りではない。また、障害者の誘導や介助を行う場合を除く。
- 2) 活動中のサイドラインやベンチでも、このソーシャル・ディスタンスを確保するよう努める。
- 3) 基本的に試合を行うチームの指導者、選手、保護者のみの体育館への入場となる。
試合終了後、選手、保護者は速やかに退場し、退場が終り次第、次のチームの入場となる。

②マスクの持参・着用

- 1) 選手はプレイ中やアップ中以外は、基本マスク着用とする。
- 2) コーチや、その他の関係者は常にマスクを着用する。
- 3) マスクを着用している場合は、熱放散が妨げられることから、熱中症のリスクを考慮して、熱中症予防行動（※）に努める。

※○暑さを避ける ○こまめに水分補給する ○適宜マスクをはずす

○日頃から健康管理をする ○暑さに備えた体作りをする

（屋外で十分な距離を確保出来る場合には、マスクをはずす。また、マスクを着用している時は、負荷のかかる作業や運動を避け、周囲の人との距離を十分にとった上で、適宜マスクをはずして休憩する。）

- 4) 顔全体をカバーするフェイスシールドについては、着用している個人あるいはチームメイトに意図しないケガのリスクを増加させるため、競技中の着用を許可しない。

③手洗い・手指消毒の徹底

- 1) 施設を利用する前後や、多くの人々が頻りに触る物に触れた後は、石鹸と水で30秒程度手を洗う、あるいは手指消毒を行う。
- 2) 手指消毒液を人が通りやすい場所に設置することで、利用しやすくする。
- 3) 定期的に手指消毒を行う（掲示物等で手洗いや手指消毒を促す）。

④換気を行う

- 1) 窓を開けたり、換気扉を利用したりして、常に、あるいは定期的に換気を行う。

⑤備品などの共用をしない

- 1) 選手間での備品（例：ビブス、タオル）の共有はしない。
- 2) 選手は各自のウォーターボトル、あるいはペットボトルを使用し共有しない。

※本チェックリストは、「JBA 活動再開に向けたガイドライン」に基づき作成しています。

